

2019年度  
中間決算の概況と  
通期の業績予想

2019年10月31日



# 目次

---

2019年度中間決算のポイント	.....	2
連結損益計算書	.....	3
連結売上高と利益推移	.....	4
連結貸借対照表	.....	5
連結キャッシュフロー	.....	6
連結セグメント別業績(中間期)	.....	7
連結セグメント別業績推移	.....	8
連結業績予想	.....	9

# 2019年度中間決算のポイント

- 収束の気配が見えない米中通商問題、国内では設備投資や輸出の弱含みなど、世界経済・日本経済の先行き不透明感が高まっております。このような環境下、今期の業績は前年同期比増収減益となりました。
  - ・売上高 4,848億円（前年同期比+226億円、 4.9%増）
  - ・経常利益 34億円（ // △5億円、 13.5%減）
  - ・当期純利益 17億円（ // △12億円、 41.2%減）
- 自己資本比率は18.2%（前年度末実績 17.1%）
- 配当  
中間 55円/株、年間 110円/株予定  
（前年度実績 中間 55円/株、年間110円/株）

# 連結損益計算書

(単位:億円)

	18年上期	19年上期	増減額	増減率
売上高 (4/26 公表値)	4,622	4,848 (4,800)	① 226	4.9 %
売上総利益	150	158	8	
販売管理費	△115	△122	② △7	
営業利益 (4/26 公表値)	36	36 (28)	0	0.5 %
営業外損益	3	△2	③ △5	
経常利益 (4/26 公表値)	39	34 (31)	△5	△13.5 %
特別損益	2	△6	④ △8	
法人税等	△11	△10	1	
当期純利益 (4/26 公表値)	29	17 (20)	△12	△41.2 %
1株当たり当期純利益	331.42 円	194.78 円		

## ①売上高

単体 + 185

・鉄鋼 + 70

・鉄鋼原料 + 166

・非鉄金属 △ 81

・機械・情報 + 21

・溶材 + 9

海外子会社 + 64

(米州+43、中国△13、アジア+40、他△6)

国内子会社 △ 4

連結調整 △ 19

計 + 226

## ②販売管理費

人件費増 △1

消耗品、賃借料増 △2 他

## ③営業外損益

支払利息増 △2

持分法投資利益減 △1 他

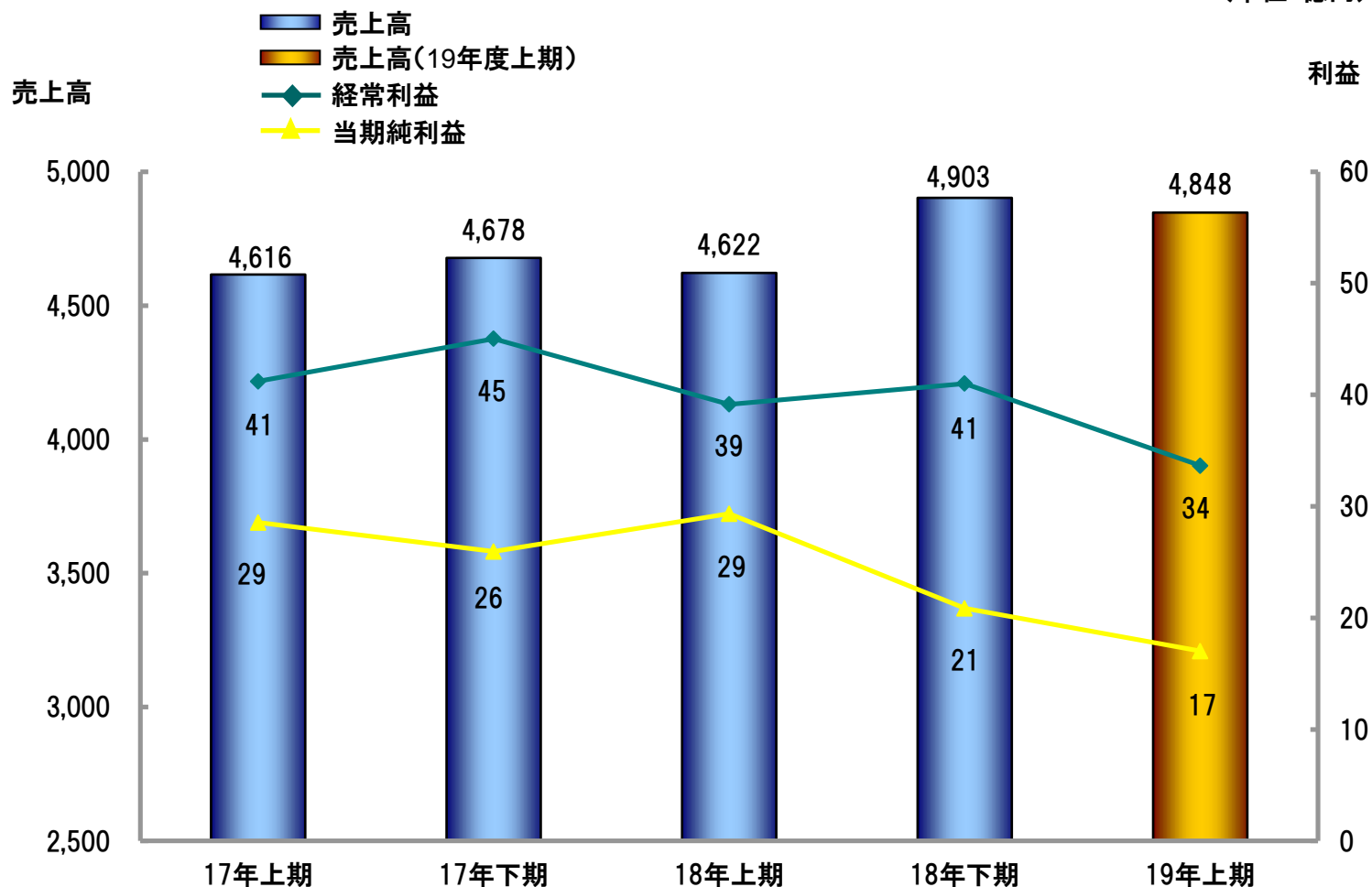
## ④特別損益

投資有価証券評価損 △5

貸倒引当金繰入額 △1 他

# 連結売上高と利益推移

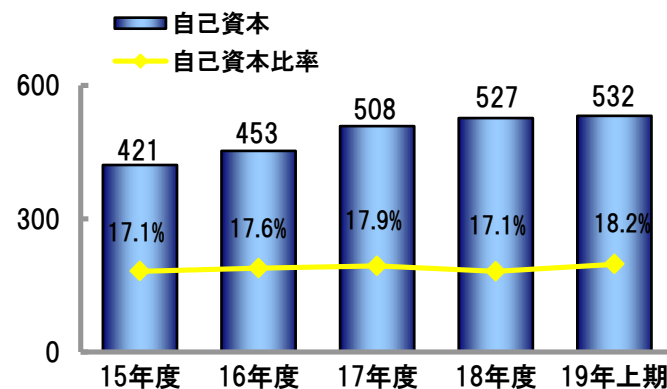
(単位:億円)



# 連結貸借対照表

(単位:億円)

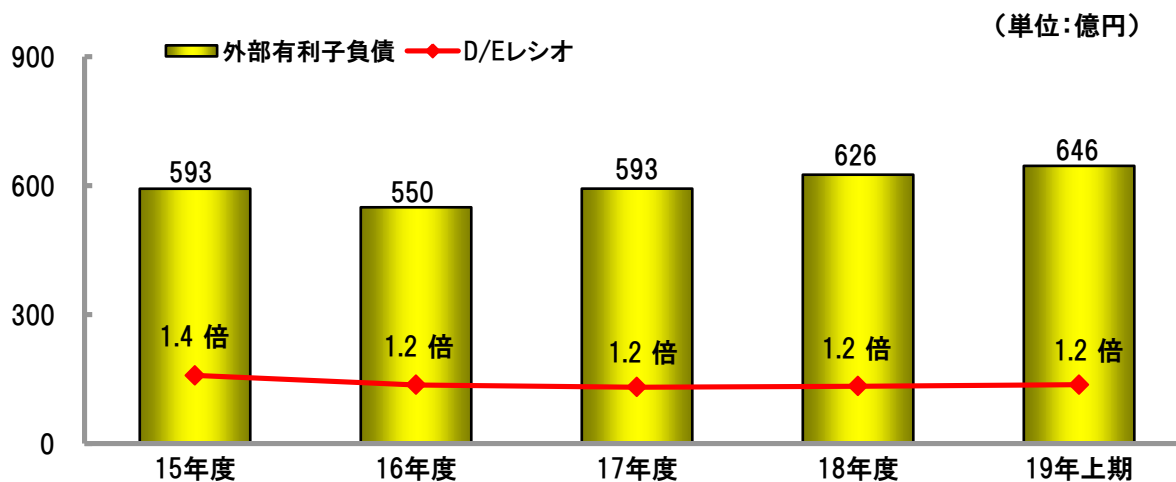
	18年度	19年上期	増減額	増減の概要
流動資産	2,654	2,506	△148	現預金+55、売上債権△206 他  投資有価証券 △6 他
固定資産	422	423	1	
（有形・無形固定資産	95	97	2	
投資その他の資産	328	326	△2	
<b>資産合計</b>	<b>3,076</b>	<b>2,929</b>	<b>△147</b>	
流動負債	2,242	2,084	△158	仕入債務 △196、短期借入金+10 他 長期借入金 +11 他
固定負債	285	292	7	
<b>負債合計</b>	<b>2,527</b>	<b>2,375</b>	<b>△152</b>	
自己資本	527	532	5	利益剰余金 +12、評価・換算差額等 △7
非支配株主持分	23	22	△1	
<b>純資産</b>	<b>549</b>	<b>553</b>	<b>4</b>	
外部有利子負債	626	646	20	
自己資本比率	17.1%	18.2%	1.1%	
D/Eレシオ	1.2倍	1.2倍	0.0倍	



# 連結キャッシュフロー

(単位:億円)

	18年上期	19年上期	増減額
営業活動によるCF	△40	+52	+92
投資活動によるCF	△8	△17	△9
フリーキャッシュフロー	△48	+35	+83
財務活動によるCF	+10	+20	+10
総合キャッシュフロー	△38	+55	+93



# 連結セグメント別業績(中間期)

(単位:億円)

		18年 上期	19年 上期	増減額	増減率	売上高・利益の状況
鉄鋼	売上高	1,540	1,643	103	6.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鋼板：国内向けは取扱量・価格ともに上昇。輸出は取扱量は横ばいで推移したものの、価格が下落</li> <li>●線材：国内向け、輸出ともに取扱量は横ばい、価格は上昇</li> <li>●海外子会社等にて減益</li> </ul>
	セグメント利益	24	16	△8	△32.5%	
鉄鋼原料	売上高	1,432	1,594	162	11.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●神戸製鋼所向け輸入鉄鋼原料：取扱量・価格ともに上昇</li> <li>●冷鉄源・チタン原料：取扱量が増加</li> <li>●合金鉄：取扱量は横ばい、価格が下落</li> <li>●海外子会社にて取扱量が減少</li> </ul>
	セグメント利益	5	5	△0	△0.6%	
非鉄金属	売上高	1,137	1,048	△89	△7.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●銅製品：空調用の取扱いは堅調も、端子コネクタ・半導体向け減少</li> <li>●アルミ製品：自動車向け板条の取扱いは増加したが、押出材減少</li> <li>●非鉄原料：アルミ原料の取扱量が減少</li> </ul>
	セグメント利益	9	7	△2	△30.4%	
機械・情報	売上高	303	335	32	10.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●機械製品：大型圧縮機、熱処理炉、電池用材料の取扱いが増加</li> <li>●情報産業関連：ハードディスク関連機器・PC部品の取扱いが増加するも、液晶電子材料等の取扱いが減少</li> </ul>
	セグメント利益	0	5	5	1,195.2%	
溶材	売上高	209	227	18	8.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●溶接材料：造船・建築鉄骨・建設機械向けの取扱いが堅調。韓国向け輸出も堅調に推移</li> <li>●溶接関連機器：国内向け鉄骨ロボットシステムが堅調</li> <li>●生産材料：溶剤原料は前年比横ばい</li> </ul>
	セグメント利益	1	1	0	77.1%	
調整等	売上高	1	1	0	—	
	セグメント利益	△1	△0	1	—	
連結	売上高	4,622	4,848	226	4.9%	
	経常利益	39	34	△5	△13.5%	



# 連結業績予想

(単位:億円)	18年度	19年度予想(※)	増減額	増減率
売上高	9,525	9,800	275	2.9 %
営業利益	79	69	△10	△12.9 %
経常利益	80	70	△10	△12.7 %
当期純利益	50	46	△4	△8.3 %
1株当たり当期純利益	566.81 円	519.48 円		
1株当たり配当金	中間55円、期末55円	中間55円、期末55円		
配当性向	19.4 %	21.2 %		

※ 19年度予想は4/26公表値

## ◆セグメント別

(単位:億円)	18年度		19年度予想		増減額	
	売上高	経常利益 (セグメント利益)	売上高	経常利益 (セグメント利益)	売上高	経常利益 (セグメント利益)
鉄鋼	3,690	43.3	3,710	36.0	20	△7.3
鉄鋼原料	2,946	12.4	3,000	11.0	54	△1.4
非鉄金属	2,425	16.9	2,470	16.0	45	△0.9
機械・情報	669	12.7	800	10.0	131	△2.7
溶材	462	3.4	470	4.0	8	0.6
連結	9,525	80.2	9,800	70.0	275	△10.2

※ 調整額等の数値は表記しておりません。

# ご清聴ありがとうございました



神鋼商事は、メーカー産社という独自の視点から  
あなたのビジネスに価値を付加するためのデザインを行います。

**KOBELCO**  
神戸製鋼グループ

**神鋼商事**  
SHINSHO CORPORATION  
<http://www.shinsho.co.jp>

(注)2019年度の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、  
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。